

# ● 徳島県の消費者教育の取組み ～ 消費者市民社会を目指して～

**基本的視点**

- 経済社会の進展に対応する「消費者の安全・安心の確保！」
- 自らの消費生活を守り, 社会にも貢献する「自立した消費者像を形成！」

## これまでの取組み

### ライフステージに即し、体系的な消費者教育



- ・幼・小・中・高校28校を**消費者教育研究実践校**に指定
- ・学校へ消費者教育・出前授業 (H27:小・中・高校・大学56校)

街角コンシューマー・カフェ | 消費者問題県民大会

- ・「**消費者大学校・大学院**」(1,847人卒業) 地域の消費者リーダーを育成
- ・「**くらしのサポーター“阿波の助っ人”**」見守り人材登録 (390人+14団体)
- ・「**消費生活コーディネーター**」(37人) サポーターの支援, 自主講座の開催

県民76万人の消費生活を見守る  
**地域の人材 約2,200人**

### 相談体制の充実強化

#### 県消費者情報センター

- ・土,日も消費生活相談を実施
- ・消費担当部局に県警本部, 教育委員会から職員を配置
- ・メール、Twitter配信 (消費者情報センターと県警, 双方から消費者被害緊急情報)

- ・見守り手帳配布 (相談のコンビニ化)

## 先駆的な取組み

### 消費者教育の進化

#### 若者がつくる倫理的消費社会

- ・高校生によるエシカル教育推進

エシカル消費を学習・体験

エシカル商品の開発・交流

エシカルの普及浸透

城西高校の実践活動

徳島会場 約240人

エシカル・ラボ in 徳島

城西・徳商の発表

エシカル・ラボin徳島(28.7.24)

#### 高齢者等の見守り強化

- ・消費生活コーディネーターによる自主講座の開催、啓発活動

消費生活見守り講座

役場 | 社協 | サポーター

見守り協議会設置

見守り講座(小松島市)